

## ◆令和5年度 デュアル意見交換会(12/13実施) 記録・アンケート集約

### 1 実習分野別意見交換 記録

#### 【製造分野】

- ・喜んできているのか、嫌々来ているのかが気になる。  
⇒なんとか楽しんでもらえるように実習内容を工夫している。
- ・実習内容が楽しいものになるようにしたいが、どうしても保険の適用範囲上、限界がある。適用されるのならば、もっと様々なことをやらせたり、現場に連れて行ったりできるが…。
- ・実習生にとって退屈な仕事が多いが、そういった単調な仕事をやらせ続ける大切さを伝えたい。
- ・非日常な場所であるため、居場所になるようにしたい。  
⇒「今日もよく来てくれたな！」の一言などの重要性
- ・どのように接したらいいかが難しい。  
⇒パワハラにならないか悩むが、ケガなどする恐れがある場合など、危険なことは言葉選び、声のトーンなど気を遣って伝えるべき。伝えることは逆に無責任。  
⇒パワハラになるかどうかは、信頼関係があるかないかで変わってくるのでは。なかなか週1回の実習で信頼関係を築くことは難しいが、早く築けるように努力したい。

#### 【販売・サービス分野】

- ・週1回しかないなので、欠席があると期間が空きすぎるので欠席せず頑張ってもらいたい
- ・生徒に話しかけても反応が薄くて困る
- ・社会に出ると人前でプレゼンテーションする機会が多くなるため、普段からよく会話をしてコミュニケーション能力を身につけさせてあげたい
- ・中学生にも実習に来てもらうことがあるが中学生はもっと話せない子がいるので、年齢による違いを非常に感じる。
- ・生徒との会話の内容に気を遣う。コミュニケーションをとるために会話したいが家族のことなど、どこまでプライベートに踏み込んでよいのか考えてしまう。
- ・実習自体は、就職につながることもあるし、多くの職業を体験できるので生徒にとってメリットは大きい。受け入れ側も、良い生徒に卒業後に就職先として来てくれることもあるので実習に来てくれることはありがたい。

#### 【介護・福祉分野】

- ・実習に慣れ続けていくと、評価が甘くなっているのではないか？  
⇒どうしてもそうになってしまう所もあるが、直接成績として彼らの評価に繋がる訳でもない。  
⇒彼らが前向きに取り組めるよう今後もポジティブな評価をしていきたい。
- ・職場の中でも評価や対応にバラツキがある。どうされているのか？  
⇒職員の歴や立場によっても違うのは事実。  
⇒なるべく良い対応をして出来るようなシフトを組んでいるが、  
⇒それも勉強と割り切っている部分もある。
- ・積極的に患者さんに関わり、資格なしでできる仕事を色々見られるようにしている。(器材洗浄、薬品混ぜ、患者様のご案内等)その中で、自ら気づいて仕事を出来るようになってほしい。
- ・インターンは見学メインになってしまった。仕事内容の2割程度しか伝えられてない気がする。

- ・事前に実習内容の段取りをしているが、欠席の時もある  
⇒できればコンスタントに来てほしい(体調不良は仕方ないとはいえ)
- ・資格なしで、どこまでの内容を実習でしていただけるのか？  
⇒障がいを持つ人の視点の疑似体験からスタートしようと考えている。(新人研修でもしている)  
⇒高齢者施設は見学とコミュニケーションがメインになってしまう。障がい者施設と一緒に生産作業をする中でコミュニケーションを取る形ができた。(利用者さんから生徒へコミュニケーションすることも多く、互いにいい影響があった)  
⇒歯科は業務がはっきりしているため、実習生ができる作業が結構多い。
- ・資格が必要な業務を細かく分割することで、資格が必要な部分が出てくるかもしれない。部分的にでも手伝うことにより、生徒が前後の業務について考えることができる。そこを生徒に経験させられたら、できることがさらに増えるのではないかと。
- ・高校生を受け入れて教えることで、事業所側も初心に戻れてよい。
- ・男女の更衣場所やトイレ等、設備が整っているのか？等の物理的なことにも気付ける。
- ・「白衣が可愛い」というイメージの生徒が、「4時間立ち仕事でけっこうしんどい」というギャップに悩まされることもある。
- ・業務もフォローも時間を割くと、生徒は安心して実習できる。

#### 【保育・教育分野】

- ・昔に比べて大きな問題なくちゃんと実習に来てくれるようになったが、一方で「挨拶」や「礼儀」など生きる力が弱くなった。
- ・挨拶や礼儀など社会人として必要な知識とほんの少し保育の基礎を伝える。
- ・どこまで指導してよいものか悩みどころである。
- ・生徒のことをしっかり事前に教えてほしい。
- ・できる限り実習生と職員が話しできる時間を作り、職員間でも情報を共有している。
- ・小学校と保育幼稚園では実習先での実習の活用の仕方が異なる。
- ・デュアル実習が無くならないように学校も生徒集めを頑張ってもらいたい。

### 2 全体意見交換 記録

#### 【製造分野】

- ・言い方、生徒がどう受け取るかの不安がある。
- ・伝えるべきことは伝えねば、ケガにつながる。

#### 【販売・サービス分野】

- ・コミュニケーション力が低い生徒が多い(増えた)ため、実習でぜひ学んでほしい。
- ・企業としても、どうしたら心を広げていくのか考えている。

#### 【介護・福祉分野】

- ・手持ち無沙汰にもなってしまうが、言い過ぎにもならないようにしている。
- ・実習先での担当者のレベル差のフォローアップは必要。
- ・仕事の楽しさの理解度が低くなってしまっているのでは？と感じる。

#### 【保育・教育分野】

- ・保育園や幼稚園と小学校でデュアルの役割が違う。小学校は多国籍生徒の対応が多く、保育園や幼稚園はなりたい！という気持ちを深めてほしいと考えている。
- ・生徒の質が変化している。最近はいろいろな意味で素直になっている。

### ③ アンケート集約

#### 【デュアルシステム意見交換会について】

- ・他社のされていること、疑問におもっていることなどが聞くことが出来て良かった。
- ・同じ志で集まっている事業所さんで話できるのは良い事だと思います。毎年続けていければと思います。
- ・皆様の意見が確認出来て良いと思います。少し時間が短いかないと思いました。
- ・同じ業態の事業所で、共通の話題についての意見交換ができて良かったです。人数もちょうど良かったです（6名）。時間の長さも今くらいで良いと思います。
- ・初参加でしたが、大変良かったと思います。色々な話の中、実習を受け入れる側も課題が多いと感じました。実習への工夫がもっと必要とわかりました。
- ・デュアルシステムの受け入れは初めてとなりますが、受け入れ前に心構えや工夫することについて学ぶことが出来、大変有意義な時間になりました。「仕事の一部を手伝ってもらう」ということで、生徒さんに任せられる仕事を積極的に作っていかうと思いました。
- ・地域の企業の方が、未来を担う高校生によりよい経験、時間ができるよう真剣に話し合われてる姿に感銘を受けました。本校は渡日生を中心に交流させてもらい、東大阪市のカラコミでも5年生が布施北さんのことを発信してきました。引き続き、よろしくお祈いします。
- ・長年デュアル実習を受け入れておられる企業の方より、導入例をお聞きすることができ大変勉強になりました。同業界でグループをまとめて頂いたことで、より具体的なアドバイスを頂くことができました。また、受け入れる企業側の姿勢や実習の目的についても議題にあがり、貴学の取り組みの目的を再確認することができました。
- ・歯科でこれまでに受け入れされている様子をきけてよかったです。想像と現実の仕事のギャップを感じているのが生徒さんの実際の声だと思いました。「この人に聞いたらいい」という担当の設置、利用者さんの立場を体感してもらえ疑似体験もデュアル実習のはじめに行えたらと考えています。コミュニケーションの大切さを学べるように心がけたいと思います。
- ・他の参加者の皆さんのお話をお聞きでき、同じ悩みや感じていることが似ている点があり、うれしく感じました。自法人（自事業所）だけの判断で行っているものが多かったですが、他の実習先の工夫や様子もお聞きできとてもよかったです。ありがとうございました。
- ・地域協働本部の一員として司会を務めさせてもらいました。昨年も同様のことを書いたかもしれませんが分野別に分けての話し合いは良いと思うのでこのかたちを続けてほしいと思います。あともう少し時間を設けてもらえればと思います。
- ・出席いただいた事業所が昨年より多かった事がうれしかったです。学校の努力に感謝です。これから受け入れる人や20年受け入れている人まで幅広い参加者で率直な意見交換ができた。困りごとや悩みが多く語られ、お互いに経験を伝えあい深められた。
- ・直接生徒と関わっている方と役職で参加されている方が混在している中ではありますが、大きく関心を持たれている。実習についても「生徒に理解を深めてもらうようにするにはどうすれば良いか」という観点で接してくれているのが良くわかりました。

#### 【3年 デュアル実習B 公開授業について】

- ・年々プレゼンの内容が良くなっているチームが少しづつ増えている気がします。プレゼンすることで振り返ったりチームで協力することの大切さに気づいたのではないかなと思います。

- ・人前でしゃべる（自分の意見を発表する）ことの経験が出来て良い。プレゼンの作成が出来る事が良い。各生徒さんが体験した事がない職種の仕事が各班の発表で聞く事が出来て良かった。発表を通じてチームワーク（コミュニケーション含む）の勉強ができています。
- ・初めて参加させていただきました。発表ということで緊張されている様子もありましたが、各班創意工夫が見られ、見ごたえのある授業でした。当たり前の話ではありますが、受け入れ側としては「まだ高校生」という認識で臨むことが改めて重要だと感じました。
- ・学生たちのプレゼンそれぞれ工夫があり素晴らしい。デュアルを通じて”自分の長所を見つけられた”など役に立っていることが分かった。
- ・保育の体験発表では、各年齢の行動差をよく観察していたようすがわかりました。「わからないこと」が素直に聴くことができるようになったと感じる生徒が多く見られました。その場所、その場所で生徒自身が積極的に仕事を見つけたり行動していく力が備わってきているのが理解できました。
- ・実習をうけた生徒側の意見・感想を聞くことができ、次年度の内容を検討するきっかけとなりました。グループ分けについて、異業種同士でチームを組むことで、どの仕事でも必要な力、社会人としての共通認識を生徒同士で共有できていると感じました。人前で堂々と発表する経験を高校生から積まれることは素晴らしいと思います。
- ・それぞれの生徒のみなさんが今まで生活の活動範囲から外に出て多く学ばれたように感じました。言葉では充分語りきれなかったかもしれませんが伝わってきました。自信をもって実習から帰ってきたのも先生のご指導があったからだと感じました。
- ・私たちも発表する機会をいただき、ありがとうございます。
- ・3年生にとって布施北高校のデュアルシステムにとっての集大成のプレゼン発表であると思う。これがある意味で卒業論文であり卒業試験であると言える。発表の場は必ずや将来につながると思うので、続けていってほしいと思う。

#### 【その他】

- ・生徒さんに接することで、毎回初心に帰れています。指導方法もコミュニケーションの取り方も今後、色々といい形で出来たらと思います。
- ・本日は貴重な機会を頂きありがとうございました。実習目的の再確認から生徒の発表まで、一連の流れを理解することができました。3年生の皆さんの集大成を拝見できたことも嬉しく思います。デュアル実習は企業にとっても成長の機会になると考えておりますので、ぜひ今後もよろしくお願い致します。
- ・自分の想いの実習先でなかったとしても、来て良かったと感じられるよう受け入れていきたいと思えます。また実習が楽しくなかったとしても、将来「あのときの経験が活かされた」となれば嬉しいです。
- ・デュアル、エンパワメントスクールをもっともっと各中学校に宣伝すべきである。この貴重なシステムを採用した高校を永久に持続可能にしていく方策を考えていかなければならない。
- ・同業種の方とお話でき、より具体的なお話できたことがよかったですと思います。一方で、他業種での工夫や内容も興味がありましたので、その機会もあるとうれしいです。
- ・意見交換会は昨年に引き続き「業種別」でおこなえたのは良かったです。改めて「デュアルシステムの持続的発展を支える布施北高校地域学校協働本部」をお知らせできる機会となり、それも良かったです。